



1. はじめに

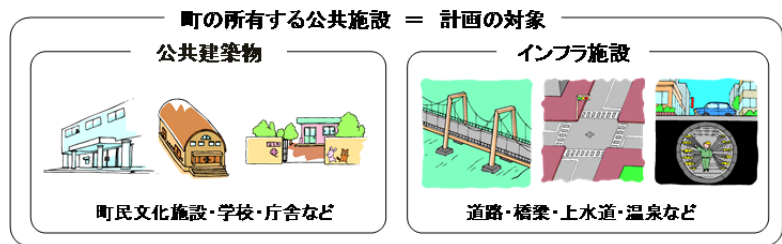
1.1. 計画の位置づけ

「羅臼町公共施設等総合管理計画」は、人口減少・高齢化・財政課題など町の今後の社会・財政情勢に対応した「これからの公共施設全般の基本方針」を定めるものです。「羅臼町第7期総合計画」を上位計画としつつ、公共施設に関する個別施設計画の方針を定める総合的かつ全町的な計画と位置づけられます。

1.2. 計画の対象と期間

本計画の対象は、公共建築物とインフラ施設を含む町が保有する全ての公共施設です。

計画期間は2017年度から2036年度までの20年間としています。



2. 公共施設の現状と課題

2.1. 公共建築物の現状

町の保有する公共建築物は延べ床面積で約7万1千㎡あります。

最も延べ床面積が大きいのは「住宅施設」で、約2万4千㎡と公共施設全体の約34%を占めています。

次に「学校教育施設」が多く約1万6千㎡（全体の約23%）となっています。

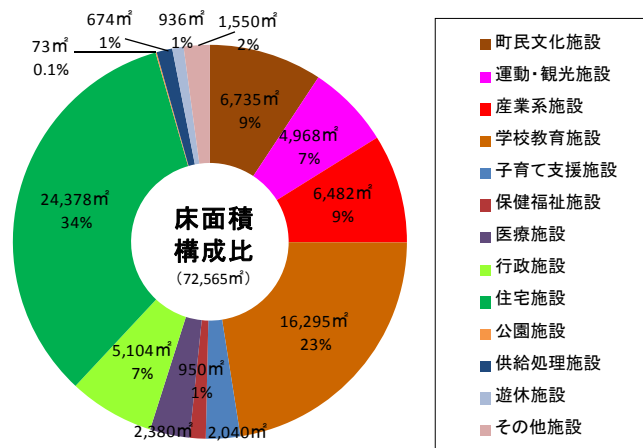


図 施設用途別の公共施設保有状況

2.2. インフラ施設の現状

町の保有するインフラ施設には、道路、橋梁、上水道、温泉施設があります。

分類	現状
道路	・ 町の管理する道路延長は約47km、道路部面積は約29万㎡です。
橋梁	・ 町の管理する道路橋は5橋で、1950～1970年代に建設されました。
上水道	・ 上水道1ヶ所、簡易水道2ヶ所から水道水を供給しています。 ・ 水道管の総延長は約81kmです。
下水道 (未整備)	・ 河川や海の水質を保全するために1991年度（平成3年度）より合併処理浄化槽の普及を促進しています。
温泉施設	・ 温泉場である湯ノ沢町地区、海岸線にも多数の温泉が湧き出ています。 ・ 町の施設としては、湯ノ沢町地区の機械室・温泉管があります。

2.3. 公共施設の更新・改修費用の見通し

今ある公共施設（公共建築物とインフラ施設）を全て定期的に更新・改修すると仮定した場合、将来40年の合計で約318億円、年平均で約7億9千万円と見積もられます。費用の大部分は公共建築物が占めていますが、公共建築物に次いで上水道の更新費用も大きくなっています。

また、更新時期が集中する時期においては年15億円程度の費用見通しとなる年次も発生することが予想され、施設の長寿命化や工事の段階的な実施など事業費の平準化が必要です。

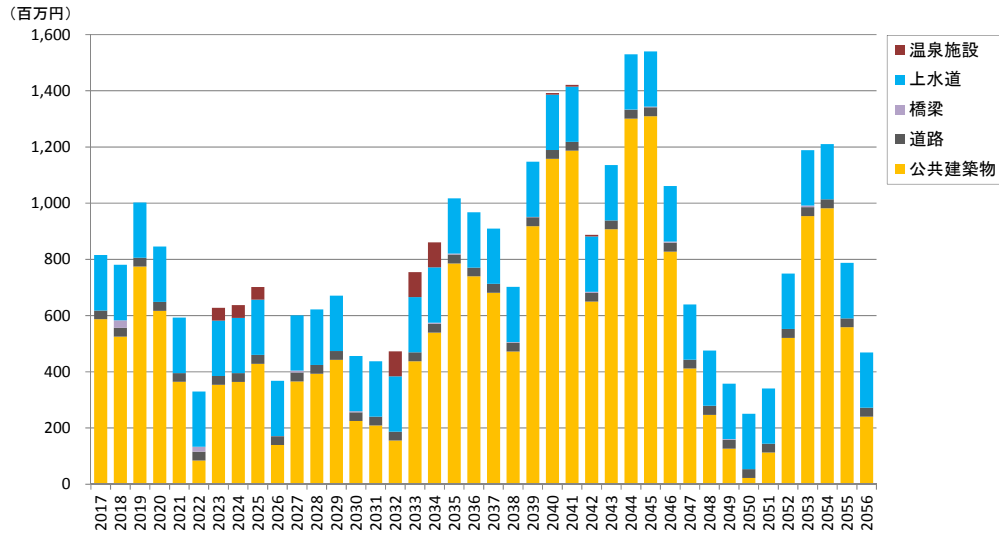


図 年次別の公共建築物とインフラ施設の更新・改修費用の見通し

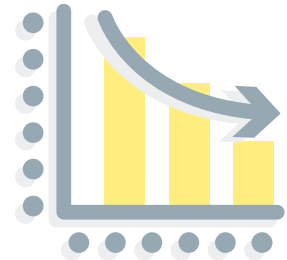
注：公共建築物は「建て替え周期50年・大規模改修無し」という条件で算出

3. 公共施設の基本方針

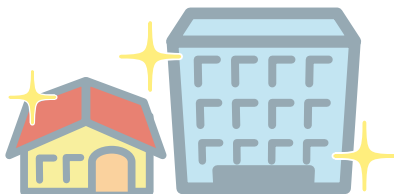
【方針①】 施設保有量の最適化

更なる人口減少や厳しい財政制約が予想されるなか、公共サービスを持続的に提供していくため、公共施設の総量を削減します。

既存老朽施設の建て替えや統合を除いて、新たな公共施設の整備は原則行わない方針とするとともに、必要性の低い施設や経費負担が大きい施設などを積極的に整理統合することで、公共施設の保有量を最適化します。



【方針②】 適切な維持管理の推進



公共施設の更新・改修・維持管理など、施設にかかる長期的なトータルコストを削減するため、施設の劣化状況を定期的に点検し、適切に補修・改修し、既存公共施設を長く・大事に使っていくこと（長寿命化）で、突発的な改修費用の発生を抑えます。

【方針③】 連携と協働による計画推進

公共施設の課題に対しては、町組織が一体となって取り組むとともに、関係する地域住民や企業、周辺自治体などと協力・連携して対策を進めていきます。



4. 公共建築物の施設類型ごとの基本方針

分類	基本方針	主な施設
町民文化施設 (10施設、16棟)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の複数町内会での共同利用・管理等による集約化を推進し、施設の維持管理にかかる町負担額の削減を図ります。 利用者が高齢化するなか、利用者ニーズに合わせた対応を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼町公民館 福祉館 コミュニティーセンター 郷土資料館
運動・観光施設 (5施設、14棟)	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果、周辺自治体との連携を含め、施設のあり方について検討します。 維持する施設は、日常業務における点検や不具合報告に対応し、予防保全による施設の長寿命化を図ります。 	 <ul style="list-style-type: none"> 羅臼町民体育館 羅臼町民温水プール 総合運動公園 道の駅知床らうす 幌萌町オートキャンプ場
産業系施設 (4施設、10棟)	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検の実施と不具合報告に適切に対応し、予防保全による施設の長寿命化を図ります。 建物更新については必要機能や費用対効果を勘案した上で検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 知床らうす深層水給水施設 羅臼町水産系廃棄物堆肥化処理施設 羅臼町農林漁業体験実習館 羅臼町ウ二種苗生産センター
学校教育施設 (5施設、19棟)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の学校配置のあり方について継続的に検討しながら、老朽施設の改修・補修を計画的に進めることで、良好な教育環境の形成と財政負担の低減化を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼小学校、羅臼中学校 春松小学校、春松中学校 給食センター
子育て支援施設 (3施設、3棟)	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務における点検や不具合報告に対応し、予防保全による施設の長寿命化を図ります。 将来の幼稚園配置のあり方や預かり保育の拡充に向けて、継続的に検討します。 	 <ul style="list-style-type: none"> 春松幼稚園 旧くなしり館 (チューリップ保育園) 羅臼幼稚園
保健福祉施設 (2施設、3棟)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進展するなか、保健福祉施設の重要性は高まると考えられますが、新たな施設整備に伴う費用負担は困難な状況を踏まえ、現行施設の維持活用によるサービス確保を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者交流いきがいセンター 羅臼町老人福祉センター
医療施設 (4施設、6棟)	<ul style="list-style-type: none"> 「知床らうす国民健康保険診療所」は、日常点検や不具合報告に対応し予防保全による施設の長寿命化を図ります。 「麻布歯科診療所」は、バリアフリー化等大規模な改修も含め検討し、長寿命化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 知床らうす国民健康保険診療所 麻布歯科診療所 診療所住宅 医師住宅 
行政施設 (5施設、5棟)	<ul style="list-style-type: none"> 「羅臼町役場庁舎」は、日常点検や不具合報告に対応し予防保全を実施することで、建物施設の長寿命化と機能の確保を図ります。 その他行政施設については、現存のまま適切に維持・管理を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼町役場庁舎 旧知床別小中学校（避難所） 旧知床別中へき地教員住宅 旧治山事業監督員詰所

分類	基本方針	主な施設
住宅施設 (34施設、166棟)	<ul style="list-style-type: none"> ・「町営住宅」は、老朽化が著しい町営住宅の計画的な建替え・除却や改善・修繕等を実施します。 ・「職員住宅」は、老朽化の著しい建物を順次解体する方向で検討します。 ・「教員住宅」は、教職員数に合わせた住宅数を確保、築22年を経過した時点で改修を検討、築40年を経過したものは除却・撤去します。 ・「その他住宅」は、老朽化の著しい建物から順次解体する方向で検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町営団地（礼文町、知昭町、峯浜町、岬町、海岸町など） ・職員住宅（緑町、礼文町、栄町、医師住宅など） ・教員住宅（栄町高台、峯浜町、本町、知昭町など） ・その他住宅（旧知円別小/中へき地教員住宅など） 
公園施設（建築物） (3施設、3棟)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務における点検や不具合報告に対応し、予防保全による施設の長寿命化を図ります。 ・施設の有効活用や町民や観光客等の利便性の向上を図ることとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・峯浜漁港公衆便所 ・瀬石公衆便所 ・相泊公衆便所
供給処理施設 (1施設、2棟)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は補修等により施設の長寿命化を図りますが、今後は周辺自治体との連携や広域処理など様々な可能性を協議するとともに、老朽化が著しい場合は、解体を含めた検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼町ごみ焼却場 
遊休施設 (4施設、7棟)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に譲渡や施設の用途転用など有効活用の可能性について検討した上で、それらの可能性がない遊休施設については、倒壊危険性や近隣居住環境や周辺景観への影響などを考慮して計画的に除却を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼町民スキー場 ・羅臼町立林間広場キャンプ場 ・羅臼町廃網処理施設 ・防災林整備事業作業小屋
その他施設 (11施設、11棟)	<ul style="list-style-type: none"> ・「羅臼町葬斎場」については、補修等により施設の長寿命化を図ります。 ・倉庫類は、日常業務における点検や不具合報告に対応し、予防保全による長寿命化を図ります。 ・ポンプ室は、今後とも適切な維持補修や機器修繕・更新により機能を確保します。 ・浄水施設等については、上水道の基本方針により維持管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼町葬斎場 ・倉庫類（旧教員住宅倉庫、旧歯科診療所車庫、本町観光倉庫） ・ポンプ室（国後展望塔ポンプ室、第1ポンプ室） ・浄水施設等（浄水場管理棟、浄水場沈砂池棟、浄水場高区配水池棟、八木浜送水ポンプ場、八木浜配水池操作棟）

5. インフラ施設の施設類型ごとの基本方針

分類	基本方針
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な道路の改修・維持管理により、安全で安心な道路機能の確保と構造物のライフサイクルコストの縮減を図ります。
橋梁	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的にパトロール・清掃などを実施するとともに、定期的に点検を行います。 ・「橋梁長寿命化修繕計画」において長期的なコストを検討したうえで適切に修繕を進めます。
上水道	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の定期点検とメンテナンスを着実に実施し、長寿命化を図ります。 ・水道施設の現状を把握し老朽施設の計画的な更新に努めます。
温泉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプおよび配管などの温泉供給システムを定期的に点検し、メンテナンスを着実に実施して、施設の長寿命化を図ります。 ・温泉使用者とも連携して、温泉資源の適正利用を進めます。